

希望郷いわて国体 熱戦に次ぐ熱戦 感動をありがとう
市内出身選手たちの誇り 高き雄姿



相撲・成年男子

個人5位 里館健
(平館高教)



相撲・成年男子

松浦智哉
(法政大学)



相撲・少年男子

松浦裕介
(平館高3年)



相撲・少年男子

吉田皇
(平館高3年)



相撲・少年男子

長内龍
(平館高1年)



相撲・少年男子

津志田亜睦
(平館高2年)



相撲・少年男子

松浦和啓
(平館高1年)



テニス・少年男子

松浦洸祐
(平館高3年)



ライフル射撃・成年女子

坂本由美子
(県体協)

※敬称略。詳しい大会の様子は、11月10日発行の広報はちまんたいで紹介しします。

編集後記

▽平館学童の受け身教室の取材に行きました。私は昔、柔道スポーツ少年団で柔道を少しやってたことがあり、子どもたちが受け身の練習をしている姿を見てとても懐かしかったです。受け身を覚えると、転んでも自然に頭を守る動作をとりやすくなります。3歳の息子が転んで頭を打つ度に、いずれば息子にも柔道の受け身を教えるなればと思えました。

▽いよいよ待ちに待った国体本大会が開幕となり、この後記を書いている最中にも熱戦が続いています。競技においては、広報でこれまで追っ掛けていた市内出身選手の奮闘ぶりを間近にし、自分のことのように1戦1戦手にカメラと汗を握りながら見守っていました。

▽市内開催5種目の正式競技を全て観ることができたわけではないですが、実際に観戦に行った人やサポーターズの人から各競技の様子などを聞くことができ、写真などを通してその場の雰囲気を感じ取っています。取材で会場を回ると、戦う選手たちもさることながら、本当にたくさんのスタッフが駆けずり回りながら、この一大イベントが作り上げられているんだなと実感しました。その中に私も参加していることを誇りに思います。今この一瞬一瞬はみんな大変だけれども、やり終えた時の充実感は大きいはず。2月の冬季大会も含めて、完全国体に携われたこと、貴重な経験ができたことを幸せに思います。

沙